

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月日実施)	総合評価(月日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	単位制の利点をいかし、年次の共通科目を基本とした普通科教育を着実に展開するための教育課程編成の工夫と授業改善に取り組む。生徒数が減少する中で、学校行事等の充実を図る。	学校規模の縮小に対応した教育課程の工夫を行う。アクティブ・ラーニングを踏まえた授業改善を念頭に、様々な取組を行う。	生徒及び教員の定数減をふまえ、選択科目の配置等を検討する。中学校との相互授業参観を継続させるとともに、生徒参加型の授業をさらに進める。	定数減をふまえた教育課程を、選択科目の見当も含め設定することができたか。相互授業参観や授業評価において生徒の授業参加の意識が高まったか。(生徒による授業評価のポイント)					
2 生徒指導・支援	初期段階であってもすみやかに生徒指導・支援が行えるよう、職員全体による一貫したサポート体制の構築と充実を図る。生徒数の減少に備え、活気ある学校生活を維持するため部活動加入促進を図る。	生徒指導については、自分自身で身を正し、社会に通用するルールやマナーを守る生徒を育成する。生徒支援は、複雑な問題を抱えている生徒が増えているなか、全職員が連携して初期対応ができるような体制を整える。生徒数の減少に備え、活気ある学校生活を維持するため部活動の維持促進を図る。	生活委員を中心としたマナーアップ運動などにより、生徒が主体となって安心・安全な学校づくりをする。「SORA コミ」の積極的な周知により、生徒が自らSCを受ける環境づくりや、初期の段階でのSSWとの連携を速やかに実施する。部活動にかかわるさまざまな環境をできうる限り整えることによって、活気ある学校生活を維持する。	頭髪服装検査及び遅刻指導での指導した生徒数。「SORA コミ」の利用件数とSCの受診数と継続数。職員全員が部活動の顧問にかかわる体制づくりを進められたか。					
3 進路指導・支援	地域に根ざした社会形成者	多様な進路希望に応じた一人ひとりに	進路希望別の説明会や面談を行い個に応じた	進路未定のまま卒業する生徒を					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月日実施)	総合評価(月日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
		の育成につながるキャリア教育を行う。妥協しない進路実現に向けた進路指導の充実を図る。	とりのニーズに対応することができる進路指導を行う。学校規模の縮小に対応した効率的な進路指導を行う。	進路指導を行う。 必要に応じて業者や上級学校等と連携した進路指導を行う。	最低限にとどめることができたか。 インターンシップや一日看護体験の参加者は増えたか。(前年度との比較)					
4	地域等との協働	○家庭及び地域社会との協働による教育活動をさらに充実させ、地域の誇りたる学校の存在を維持する。	生徒会や部活動生徒を中心に地域の行事等へ参加することで、地域の活性化と生徒の表現力の向上を図り、win-winの関係づくりを進める。 適切なゴミ分別を行い、ゴミの少量化と環境に配慮する意識を高める。	地域の行事に生徒を参加させることで、地域に対する理解や貢献する意識を高めさせる。 地域貢献活動に伴う校内外の清掃活動を実施する。	地域の行事に参加し地域に貢献したか。また、文化祭等の表現発表の場で地域に貢献できたか。(生徒・地域への聞き取り) 環境に配慮する意識が高まったか。					
5	学校管理 学校運営	○統合を控え、4年間生徒のために何事にも前向きかつ意欲的に取り組む職員集団をつくりあげる。	○効率的・効果的な教育活動を推進するため、情報機器やネットワーク等を適切に管理・整備し利用を促進する。	職員数の減少に対応し、業務を効率的に行うためのポータルサイトの効果的な活用方法を模索する。 再編統合に向けた校内整理の中で、効果的に情報機器や施設を利用できるように配置の再編等を行う。	ポータルサイトの活用状況。 情報機器・施設の利用度。					